

放射光科学入門

尾嶋 正治

放射光科学は約半世紀の歴史を持っているが、光源加速器の急速な進歩に伴って放射光の高輝度化が進み、これまで見えなかったものが手に取るように明らかになりつつある。特に分解能の観点で言うと、空間分解能（ナノビーム）、時間分解能（パルス放射光）、エネルギー分解能（meV オーダー）、運動量分解能などが大幅に向上し、さらにコヒーレンスを利用した新しい解析が進んでおり、デバイス動作中の解析も現実のものとなっている。現状と今後の展望について紹介したい。